

山崎晴恵市長からの メッセージ



春の暖かさを爽やかな風が運んできました。
みなさま、いかがお過ごしでしょうか。

本年4月18日をもって、私は宝塚市長を退任いたします。みなさまと一緒に過ごした4年間は、とても素晴らしい日々でした。心から感謝いたします。

まさにコロナ禍という有事で始まりました山崎市政では、市民や事業者のみなさまは新型コロナウイルス感染症拡大により様々な影響を受けており、その生活を守ることを一番に考えるべきときでした。何とかコロナ禍の影響を最小限に留めようと、感染予防対策や生活支援などに取り組みながら、市長も自粛でしたのでみなさまとお会いすることができない2年間は辛いものでした。

私がこの4年間で一番心に残ったのは、武庫川河川敷でのイベントで出会った市民の方からの「市役所が変わったよ。職員が市民の方を向いてくれた。職員と一緒に活動してくれるようになった。」という言葉でした。コロナ対策に取り組みながら、まずは行政の改革、多様な方々との協働共創に力を注いできました。教育委員会には子ども中心に問題を解決する弁護士を配置し、行政組織の中に外部人材の力を取り入れ、民間企業や国

に職員を派遣するなど、職員の意識を変え、組織が時代に合わせて変化していくための施策を実施しました。24の企業、団体、大学と包括連携協定を締結してまちづくりの仲間を増やし、誰かと協働して、市民の幸せのために私たちみんなでまちを支え盛り上げていく試みが沢山生まれました。その中でもとりわけ市民のみなさまと協働での活動は、宝塚市を支える一番の力です。

林芙美子が好んで色紙に書いた短詩があります。「花のいのちはみじかくて 苦しきことのみ多かれど 風も吹くなり 雲も光るなり」。私の祖母の部屋に掲げてあった言葉です。私が守るべき人々の幸せを実現するため、苦しいことが多くても必ずどこかに光は見いだせると信じて進んできました。私の退任が寂しいと涙を流してくれた方々、そして支えて下さった全てのみなさまに、心から感謝いたします。またどこかでお会いできることを期待して、お別れのご挨拶といたします。ありがとうございました。

山崎晴恵

PHOTO NEWS



市長出演番組「まちづくりゆめづくり～市長と語りましょう～」
4月6日(日)8時半～9時 / (再)4月13日(日)8時半～9時
テーマ：山崎市政4年間を振り返って

市民文化賞・市民スポーツ賞・ すみれ賞を贈呈

3/6

令和6年度 宝塚市
市民文化賞・市民スポーツ賞・すみれ賞 表彰式



文化の向上やスポーツの振興、市民生活の各分野で市のまちづくりに貢献した人たちが表彰されました。

手塚治虫記念館開館30周年企画 荒木飛呂彦トークショーを開催

3/15



漫画家・荒木飛呂彦さんが代表作「ジョジョの奇妙な冒険」に込めた思いや、手塚作品との出会いなどを語りました。

宝塚市大使 吉田義男さんを偲んで

元阪神タイガース選手・監督で宝塚市大使の吉田義男さんが、2月3日にご逝去されました。享年91歳でした。吉田さんは本市お住まいのご縁で平成13(2001)年に宝塚市大使に就任いただき、これまで宝塚市の魅力発信に多大なるお力添えをいただきました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



よしだよしお
吉田義男さん

阪神タイガースで入団1年目からレギュラーとして活躍。華麗な守備と盗塁を魅せ、「今牛若丸」の愛称で親しまれた。選手引退後は、3度にわたって阪神タイガースの監督として指揮を執り、昭和60(1985)年には日本一に導いた。